

昭島市における高齢化・認知症の現状

令和2年3月31日作成

高齢化の現状

(令和2年3月1日現在)

	総数	男性	女性
総人口	113,466	56,441	57,025
高齢者人口(65歳以上)(1号被保険者)	29,763(26.2%)	13,271	16,492
内100歳以上	57	6	51
40～64歳人口(2号被保険者)	39,311	20,385	18,926

要介護(支援)認定者数 ()内は2号被保険者

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
649(11)	741(10)	1,233(34)	884(25)	758(21)	733(18)	583(16)	5,581(135)

昭島市における認知症の現状

(令和2年3月1日現在)

●要介護・要支援認定者5,581人中 主治医の意見書がある5,515人 について

要介護(支援)認定者における主治医の意見書から見た認知症の状況

項目	人数	割合	備考(判定基準)	
自立	1,161	21.1	日常生活に認知症による支障は無い	
認知症認定者	自立度Ⅰ	1,315	23.8	何らかの認知症はあるが自立している
	自立度Ⅱ	1,435	26.0	買い物や金銭管理、電話の対応などができない
	自立度Ⅲ	1,060	19.2	着替えや食事、排泄等が自分でうまくできない
	自立度Ⅳ	428	7.8	食事や排泄等に介護が必要で常に目を離せない
	自立度M	116	2.1	IからⅣの高齢者が専門医療を必要とする状態
合計	5,515	—		

令和2年3月1日現在で、要介護・要支援認定を受けている高齢者(5,581人)の内、主治医意見書が提出されている5,515人について、主治医意見書の項目で「認知症高齢者の日常生活自立度」を分析した結果、認知症の心配のない「自立」と判定された方が1,161人(21.1%)。よって、要介護・要支援認定を受けている方のうち78.9%が、なんらかの認知機能の低下が見られ、認知症認定者という結果となった。なかでも、何らかの介護支援を必要とする認知症の症状があるとされる自立度Ⅱ以上の方が55.1%となり、半数を超える結果となった。

「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」の結果から見た、昭島市在住の65歳以上の一般高齢者及び要支援1～2の方の認知機能低下の現状

＜調査概要＞

- (1) 調査期間 令和2年1月14日(火)～1月29日(水)
 (2) 調査対象者 市内在住の65歳以上(令和2年1月1日現在)の一般高齢者及び要支援1～2の方のうち、3,000名を無作為抽出(要介護1～5の方は対象外)
 (3) 調査方法 郵送による配付・回収
 (4) 回収結果 有効回収数 2,358人(有効回答率78.6%)

機能低下に関する調査項目	認知症が疑われる回答	認知症の疑いありと判定された割合
物忘れが多いと感じますか	「はい」	男性 52.6% 女性 54.7% 平均 53.7%
自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	「いいえ」	
今日が何月何日かわからない時がありますか	「はい」	

R2年度策定予定の「高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画」の基礎資料とするために、令和2年1月に実施した、「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」によると、国の調査項目に基づく設問のうち、認知機能に関する3つの設問の回答によって、認知機能低下のリスクを判定することが可能とされており、具体的には、3問中1問でも該当した場合、認知機能の低下(認知症の疑いあり)と判定され、介護予防・生活支援サービスの対象者となる可能性がある。

認知症サポーター養成研修の実施(認知症に対する正しい理解の促進)

この研修の目的は、

- (1) 認知症に対して正しく理解し、偏見をもたない。
- (2) 認知症の人や家族に対して温かい目で見守る。
- (3) 近隣の認知症の人や家族に対して、自分なりにできる簡単なことから実践する。
- (4) 地域でできることを探し、相互扶助・協力・連携、ネットワークをつくる。
- (5) まちづくりを担う地域のリーダーとして活躍する。

などを目的に認知症サポーター養成研修として、地域や職場・団体等で、住民講座、ミニ学習会として開催しており、昭島市では、現在までに7,634人ものサポーターを養成している。特に、小・中学校での研修開催にも積極的に取り組んでおり、認知症を地域で支えるサポーターの裾野拡大に努めていきたい。

認知症サポーター養成研修の年度別受講者数及び講座開催回数の内訳

(令和2年3月31日現在)

年度	受講者数	開催回数	主な開催場所及び受講者
19~23	1,317人	43回	同胞互助会(職員・入所者)、昭和の森エリアサービス(警備員)、多摩信、八千代銀行、西武信金、共成小学校(6年生)で実施
24	443人	13回	多摩信、朝日生命、拝島第二小学校(6年生)、共成小学校(6年生)で実施
25	640人	23回	昭島警察署、光華小学校(ボランティア部)、拝島第三小学校(5年生)、八千代銀行、拝島第二小学校(5年生)、共成小学校(6年生)で実施
26	798人	27回	つつじが丘北小学校(5年生)、多摩辺中学校(PTA)、玉川小学校(4年生)、りそな銀行、拝島第二小学校(5年生)、共成小学校(6年生)で実施
27	775人	26回	昭島警察署、共成小学校(6年生)、拝島第二小学校(5年生)で実施
28	869人	30回	玉川小学校(4年生)、共成小学校(6年生)、拝島第二小学校(5年生)で実施
29	1,007人	24回	瑞雲中学校(1~3年生)、読売センター、共成小学校(6年生)、拝島第二小学校(5年生)、昭島郵便局で実施、
30	1,144人	26回	瑞雲中学校(1~3年生)、イトヨーカドー昭島店・拝島店、法務局、共成小学校(6年生)で実施
R元	601人	19回	トヨタモビリティ(市内4店舗)、瑞雲中(1年生)、共成小学校(6年生)、つつじが丘管理組合、東日本矯正医療センター、シルバー人材センター、市民図書館職員、市民会館職員、昭島郵便局 ※コロナ感染予防のため、拝島第二小学校、やまのかみ会館は中止
合計	7,634人	231回	

認知症初期相談窓口及び認知症初期集中支援チームの活動状況

(令和2年3月31日現在)

相談件数()内は新規 内)初期集中支援実施件数	被相談者実人数	相談者内訳	R元
	R元		
	129(119)	本人	2(0)
	18(7)	家族(同居)	2(0)
		家族(別居)	1(1)
		近隣住民	6(1)
		ケアマネージャー	0(0)
		地域包括	2(2)
		市職員	2(1)
		知人	2(2)
		民生委員	1(0)
		計	18(7)

項目	件数	項目	件数		
	R元		R元		
相談内容 (初期集中 扱い)	未受診(疑い)	11(4)	訪問 窓口チーム訪問	60	
	受診拒否	1(1)		クリニックチーム訪問	1
	医療中断	1(0)		医師訪問	0
	介護サービス拒否	1(0)		合計	61
	介護相談	1(1)	認知症初期相談窓口及び認知症初期集中支援チームは平成30年4月1日開設 ※()数字は今年度の新規相談件数		
	近隣相談	2(1)			
	医療機関紹介	1(0)			
	その他	0(0)			
	合計	18(7)			

